

ここでは役場で行っている環境マネジメントシステムの内容や取り組みについて紹介します。

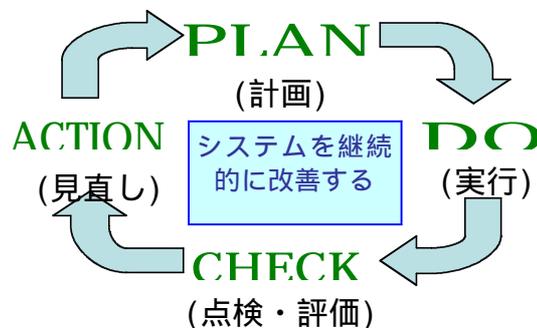
(内容)

土幌町環境マネジメントシステム

土幌町では、あらゆる環境問題について、すべての職員が率先して取り組むために、独自の「土幌町環境マネジメントシステム」を計画し、平成17年7月から運用を開始しています。

環境マネジメントシステムは、環境に関する計画や目標について、「P(計画) - D(実行) - C(点検・評価) - A(見直し)」を行い、システムを継続的に改善していく仕組みの事を言います。

企業などで取り組まれているISO14001も、環境マネジメントシステムのひとつです。



LAS-Eとは? このシステムは、環境自治体をめざす全国の65の自治体で構成する「環境自治体会議」の附属機関、NPO法人「環境政策研究所」が開発した環境自治体政策規格(環境自治体スタンダード Local Authority's Standard in Environment 通称: LAS-E)を基本に住民参加型の環境を考えていくシステムです。

環境マネジメントシステムを導入するに当たり、LAS-EとISO14001を比較しLAS-Eに決定した訳ですが、LAS-EとISO14001との違いは、

1. 住民や事業者、NPOと協働で計画し運用していく事。
2. 目標の設定する際に、住民や事業者、NPOが参画し決定する事。
3. 町が独自に決定した目標以外に、取り組み状況を他の自治体と比較・評価ができる、共通目標を設定する事。
4. 町の取り組み状況を住民にも参画をしていただき、住民の目線での監査を行う事。
5. 取り組みの対象施設は、本庁だけではなく、すべての公共施設を対象にする。という特徴があります。

この取り組みは、役場のために、また、監査に合格するために行うのではなく、かけがえのない地球を守り、未来を担う子どもたちにより良い環境を引き継ぐために、現代を生活している私たちの責務として、また、「環境配慮を優先した地域づくり、自然との共生・調和した町」の実現に向けて、町長を筆頭に、全職員が一丸となって取り組んでいます。

士幌町環境マネジメントシステムの目標は大きく分けて、2種類あります。

1. LAS - Eが決定している共通目標

2. 町が独自で決定する独自目標

本庁舎を含め、各施設（出先機関や学校、保育所などの施設、病院、特養ホーム、消防署）に範囲を広げて取り組みます。

環境自治体会議が類型区分にしたがって定める共通項目を実施する事により、高い水準で運用されていきます。

環境に関する情報公開や住民参加を進めます。

独自目標の設定及び環境監査は、住民及び事業者の参加を得て、地域の課題やニーズに応じた目標設定、第三者による監査を行います。

システムの文書化は必要に応じて行い、労力を削減します。

LAS - Eは、第1ステージから第3ステージまであります。

第1ステージは、庁内の事務事業

第2ステージは、公共事業を含む事業活動

第3ステージは、地域全体

と、少しずつステップアップができるようになっています。

必ず第1ステージからではなく、どのステージからでも取り組む事が出来ます。

また、エコアクション部門、エコマネジメント部門、エコガバナンス部門と3つの部門があります。

エコアクション（環境活動）部門は、環境問題解決や地域の持続可能な発展のために必要な対策が行われているかどうか。

エコマネジメント（環境経営）部門は、環境に対する総合的で効率的な行政運営や政策立案が行われているかどうか。

エコガバナンス（環境自治）部門は、住民・事業者とのパートナーシップによる事業の実施や政策決定が行われているかどうか。

すべての部門に取り組まなくてはいけないことはありません。例えばエコアクションのみを取り組むことも可能です。

このような事を平成17年7月1日から行っています。

（現在の取り組み）

各課でごみを分別し、可燃・不燃・プラ・紙類、ビン、カン・ペットボトルなどの排出量を計量しています。また、毎月1回（25日）をノー・マイカー・デーとして二酸化炭素の削減に取り組んだり、節電などを現在行っています。数値などは、今後報告していきます。

詳しくは士幌町のホームページに載っていますので参照下さい。

ホームページ <http://www.shihoro.jp/hp/EMS/index.shtm>